

み仏にいだかれて

一、みほとけに いだかれて
きみゆきぬ 西の岸
なつかしき おもかげも
きえはてし 悲しさよ

二、みほとけに いだかれて
きみゆきぬ 慈悲の国
みすくいを 身にかけて
しめします かしこさよ

三、みほとけに いだかれて
きみゆきぬ 花の里
つきせざる たのしみに
笑みたもう うれしさよ

四、みほとけに いだかれて
きみゆきぬ 宝楼閣
うつくしき みほとけと
なりましし とうとさよ

仏教の教えに現代的な曲をつけたものです。200曲以上有ります。

一緒に歌いましょう

- ビデオ法事 ①お電話にて日時をお申し込みください
 - ②当日は住職が本堂にて一人で法事を務めます。写メ送信。
 - ③ご家庭のお仏壇の前で YouTube の動画にてお焼香をし、正信念仏偈を一緒に称えましょう。
 - ④離れて住んでいる家族やご親戚にもアドレスを送ってご参加ください。お布施は振込です
- ※願・チャンネル登録・今後法要も配信します



YouTube 超光寺チャンネル

法名について

法名は仏弟子であることを表す名前です。お釈迦様の「釋」を用い「釋〇〇」と三字です。「釋親鸞」と名乗られた事に由来します。

帰敬式にて付与され、生前に頂く事を通例と致しますが、葬儀にては手継寺が下付します。現在本願寺では位号(信士・信女居士など)を用いない法名を推奨しています。

帰敬式(法名下付の儀式)

帰依敬礼の誠を表す大切な儀式で「おかみそり」と俗称します。西本願寺では毎日行われ、三帰依文「南無帰依・佛・法・僧」の経文にて佛になりゆく名前を持ちます。

初七日法要

故人が仏国浄土に生まれ永遠のいのちを賜り、覚りを開いた仏になる事を、私が認識するために四十九日を歩みます。初七日は正式には命日の六日後に勤めます。お家族で自宅にてお参りをなさってください。住職に來訪を依頼なさると伺わせていただいております。仏教理解が深まる話をします。

礼拝の作法

姿勢を正しお参りする対象に眼を開けて目します。両手は胸の前で90度の向きで合わせて数珠は両手に通します。礼拝(お辞儀)にて感謝の念を表し、姿勢を戻し、手を離します。

浄土真宗本願寺派 超光寺

埼玉県草加市花栗1-322-335

法話会 毎月第一土曜午後1時半~3時

048-942-6612 jofam77@gmail.com

正信念仏偈

●導師が読む
●帰命無量寿如来

南無不可思議光

法蔵菩薩因位時

在世自在王仏所

親見諸仏浄土因

国土人天之善悪

建立無上殊勝願

超発希有大弘誓

五劫思惟之攝受

重誓名声聞十方

普放無量無辺光

無碍無对光炎王

清浄歡喜智慧光

不断難思無称光

超日月光照塵刹

一切群生蒙光照

本願名号正定業

至心信樂願為因

成等覺証大涅槃

必至滅度願成就

如来所以興出世

唯説弥陀本願海

五濁惡時群生海

忘信如来如实言

能發一念喜愛心

不断煩惱得涅槃

凡聖逆謗齊回入

如衆水入海一味

攝取心光常照護

已能雖破無明闇

貪愛瞋憎之雲霧

常覆真实信心天

譬如日光覆雲霧

雲霧之下明無闇

獲信見敬大慶喜

即横超截五惡趣

一切善惡凡夫人

聞信如来弘誓願

仏言広大勝解者

是人名分陀利華

彌陀仏本願念仏

邪見憍慢惡衆生

信樂受持甚以難

難中之難無過斯

双調(徴) 出音(尙越)

依經段(弥陀釈迦二尊の教え)

段依釈僧(七高)
印度西天之論家
中夏日域之高僧

頭大聖興世正意
明如來本誓忘機

釈迦如來楞伽山
為衆告命南天竺

龍樹大士出於世
悉能摧破有無見

宣說大乘無上法
証歡喜地生安樂

顯示難行陸路苦
三不三信誨慇懃

像末法滅同悲引
一生造惡值弘誓

至安養界証妙果
善導獨明仏正意

矜哀定散与逆惡
光明名号顕因縁

開入本願大智海
行者正受金剛心

慶喜一念相応後
与草提等獲三忍

与草提等獲三忍

信樂易行水道楽
憶念弥陀仏本願

自然即時入必定
唯能常称如來号

天親菩薩造論説
帰命無尋光如來

依修多羅顕真実
光闡横超大誓願

廣由本願力廻向
為度群生彰一心

即証法性之常楽
源信広開一代教

偏帰安養勸一切
専雜執心判淺深

報化二土正弁立
極重悪人唯称仏

我亦在彼攝取中
煩惱障眼雖不見

木悲無倦常照我
本師源空明仏教

憐愍善悪凡夫人

憐愍善悪凡夫人

歸入功德大宝海
必獲入大会衆数

得至蓮華蔵世界
即証真如法性身

遊煩惱林現神通
入生死園示忘化

本師曇鸞梁天子
常向鸞処菩薩礼

三蔵流支授浄教
焚焼仙経帰楽邦

天親菩薩論註解
真宗教証興片州

還来生死輪転家
決以疑情為所止

速入寂靜無為楽
必以信心為能入

弘経大士宗師等
拯済無辺極濁悪

道俗時衆共同心
唯可信斯高僧説

唯可信斯高僧説

唯可信斯高僧説

報土因果顕誓願
往還回向由他力

正定之因唯信心
惑染凡夫信心発

証知生死即涅槃
必至無量光明土

諸有衆生皆普化
道綽決聖道難証

唯明浄土可通入
万善自力賤勤修

円満徳号勸専称

南無阿弥仏
南無阿弥仏
南無阿弥仏
南無阿弥仏
南無阿弥仏
南無阿弥仏
南無阿弥仏
南無阿弥仏
南無阿弥仏
南無阿弥仏

●和讃 二首
●本願力に遇いぬれば
空しく過ぐる人ぞなき

●如来浄華の聖衆は
正覚の花より化生して
衆生の願楽ことごとく
すみやかにとく満足す

●回向
願以此功德 平等施一切
同発菩提心 往生安楽国

願以此功德 平等施一切
同発菩提心 往生安楽国

正信念仏偈 弥陀の功德 南無阿弥陀佛
によつて全てのいのちを仏にする
智慧と慈悲の仏に成る人生を嬉ぶ歌

双調(宮)出音(双調)